

【屋内活動】館内バードウォッチングオリエンテーリング

館内地図上に示した鳥が描かれたポストを見つけ、図鑑で鳥の特徴を調べ、鳥の名前を回答する競技です。

- (1) ねらい バードウォッチングは、自然の中でじっと静寂を保ち、鳥が飛来するのを待ち、観察するものです。野外活動等団体活動においては、時間的制約、また、子ども達は長時間の静寂を保つ事にも無理があるため、館内に鳥の絵柄を描いたポストを設置し、遊びの要素も取り入れ、オリエンテーリング形式で行えるようにした。グループでポストを探し、図鑑を活用して解答を得るため、協調性、観察力、コミュニケーション能力、体力の向上等多くの効果が期待できる。
- (2) 対 象 小学校低学年～大人
- (3) 時 期 通 年
- (4) 所要時間 競技時間 1 時間 説明時間 15分～20分 約1時間30分
- (5) 事前指導
 - ・地図の見方を理解させる。
 - ・リーダーを中心にして行動できるチームワークづくりをさせる。
 - ・安全に対する注意力を周知する。
- (6) 服装と ㊦動きやすい服装、筆記用具
準備物 ㊧解答用紙
 ㊨次の物品は所の方でも貸し出します。
 地図、解答、解答用紙の原本、バインダー、ゼッケン、図鑑
- (7) 指導上の
 - ・地図の見方を確認し、正しい判断ができるようにさせる。
 - ・個人が勝手な行動をとらず、リーダーを中心によく話し合い、知恵を出し合ってポイントを見つけるようにさせる。
 - ・立ち入り禁止箇所を確認して、立ち入らないようにさせる。
 - ・出発時と帰着時の人員の確認を厳重にする。
 - ・指導者は事前にコースを下見し、実施時には次の係を決め、安全に配慮する。

スタート係	<ul style="list-style-type: none"> ・競技開始前の必要な指示、連絡をする。 ・班ごとにコース図を配布する。 ・各班を順番に、所定の時刻に正しくスタートさせる。 ・スタート待ちの者を掌握する。
ゴール係	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ全員が揃っているか確認し、解答用紙を提出させる。 ・ゴール時刻を記録し、得点を集計する。
巡回・安全係	<ul style="list-style-type: none"> ・競技開始前に出発し、危険な場所をパトロールし、参加者のルール違反には、適切な指導をする。 ・全員通過後、コースその他の異常の有無を確認する。

(8) 競技方法

- 地図上に①から⑮の番号が入ったポストと地図上には表記されていないAからEの記号が入ったポストが全部で20枚設置されている。コースを探しながら巡り、ポストを発見したら「解答用紙」の「鳥の名前欄」に解答を記入する。より多くの解答を得たチームが1位となる。
- 1つの班は3～5人位が個々の力を発揮しやすいと思うが、こだわる必要はない。
- スタートは、『一斉スタート』・『時差スタート』どちらでも競技は楽しく行うことができる。

◎一斉スタート

- ・競技に制限時間を設ける。(競技時間はスタート～ゴールまで1時間30分位が適当)
- ・競技者は、どのポストから探しても良く、コース設定はチームの作戦にまかせる。
- ・設定された競技時間内にチーム全員が揃って必ずゴールする。メンバーが揃っていないと減点の対象となる。減点は任意で主催者が決めてよい。
- ・設定時間内にゴールし、同点の場合は、先にゴールしたチームが上位となる。
- ・設定時間を超えてゴールした場合は30秒につき、0点減点することとし、減点数は主催者が任意で決め、事前に参加者に周知しておく。チームで駆け引きの作戦が必要となる。
- ・一斉スタート、一斉ゴールであるため、プログラムの時間計画が立てやすい。

◎時差スタート

- ・チーム毎に時差をつけてスタートする。最低3分以上の時差をつけた方がよい。
- ・コースは主催者が決めた通りに巡り競技する。(全チーム同じ方向へ向かってコースを巡る。)
- ・競技者は、全ポストを探し、正答数と時間の長、短を競うことになる。
- ・スタート時にスタート係に出発時間を記入してもらい、ゴール時にゴール係に解答用紙を提出する。ゴール係は、ゴール時間を記入し、採点する。
- ・ゴール時にはメンバー全員が揃っている事が条件であり、欠けている場合は最後のメンバーがゴールした時点の時間となる。
- ・チームによって競技時間に差があるため、プログラムの時間計画を多く取る必要がある。